



# 国際海上コンテナターミナル整備事業 (神戸港六甲アイランド地区、大阪港北港南地区)

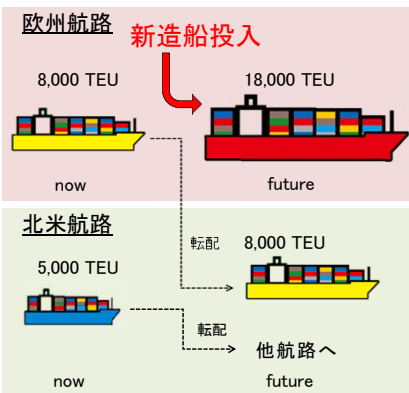
## グローバル経済で勝てる物流ネットワークへ強化

現在 now



将来 future

インフラ



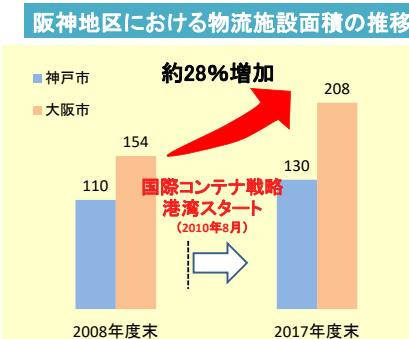
- 水深16mに増深
- 耐震強化岸壁及び荷捌き地の整備
- ガントリークレーンの設置

コンテナターミナルの拡張により  
海上物流が効率化

阪神港の物流機能が強化される。  
地場産業から先端産業まで幅広い  
業種を有する西日本経済の一層  
の発展に期待

国内大手流通会社

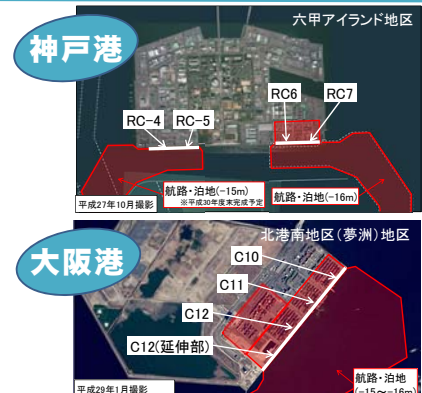
地域



臨海部において  
大型物流施設の集積が進展

世界へダイレクト輸出ができる  
神戸港(国際コンテナ戦略港湾)に  
部品供給拠点を移すことで、デリ  
バリータイムの短縮につながる

神戸港に大型物流施設を立地した企業



平成30年代完成予定

平成30年以降操業開始する主な物流施設



平成29年度から順次操業

< 出典 > 各企業のプレスリリース等より近畿地方整備局調べ

- 経済のグローバル化に伴いコンテナ船の大型化が進展
- 大型船に対応した耐震強化岸壁の整備により、地震等の災害時における事業継続の優位性を評価した**企業の立地が促進**
- 国際海上コンテナターミナルの発展を見据え、阪神港周辺の臨海部に民間投資による物流施設の集積が進展し、**一大物流拠点を形成**

